

防除情報

長崎県病害虫防除所長

平成30年度病害虫発生予察防除情報第4号

トマト 黄化葉巻病の防除対策について

促成トマトで黄化葉巻病の発生が多い状況にあります。本病はタバココナジラミによって媒介されますので、ウイルス保毒虫を『入れない、増やさない、出さない』ことが大切です。

トマトほ場での伝染環を断つため、栽培終了時のハウス密閉による蒸し込みなどを実施し、タバココナジラミのハウス外への飛散を防ぎましょう。

記

1. 発生状況等

- (1) 5月前期の巡回調査（12筆）の結果、黄化葉巻病の発病株率は1.5%（平年0.7%）、発生圃場率は41.7%（平年17.7%）と多い発生であった（図1、2）。
- (2) 5月前期の巡回調査（12筆）の結果、コナジラミ類の寄生葉率は7.8%（過去7か年平均3.3%）、発生圃場率は58.3%（過去7か年平均39.6%）と多い発生であった（図3、4）。

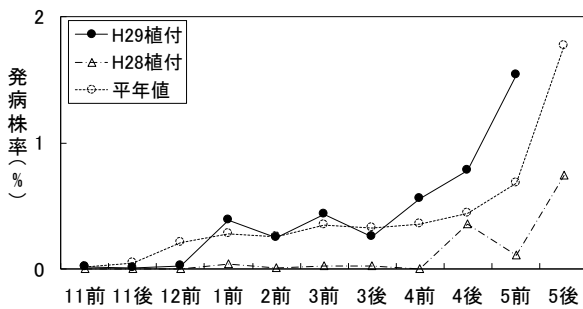


図1 トマト 黄化葉巻病 発病株率の推移

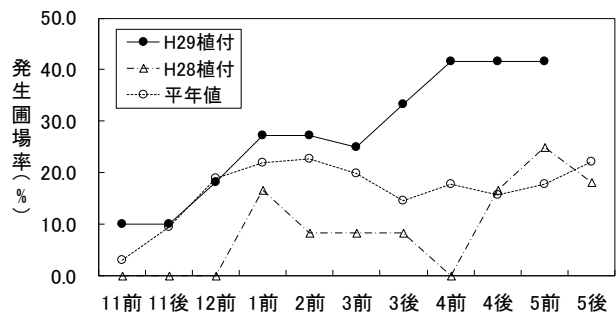


図2 トマト 黄化葉巻病 発生圃場率の推移

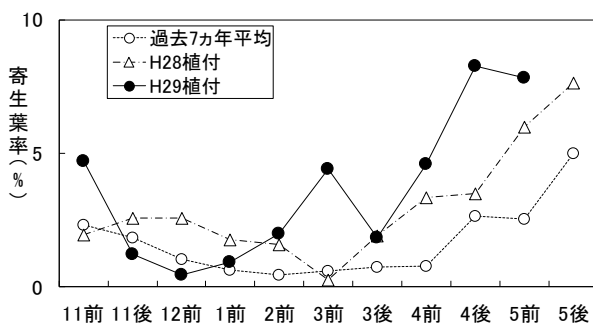


図3 トマトのコナジラミ類 寄生葉率の推移

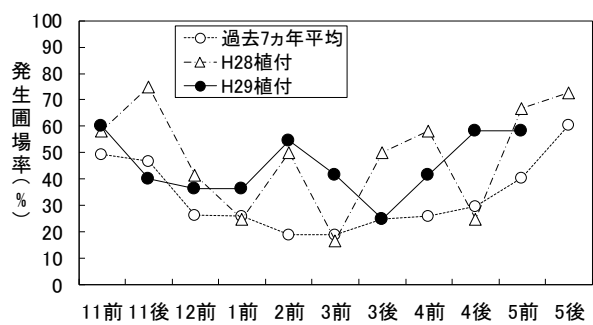


図4 トマトのコナジラミ類 発生圃場率の推移

注) 平年はH22～28年の平均値

2. 防除対策

(1) 圃場内外の寄主植物の除去

本虫の生息場所となる施設内外の雑草等を除去し、周辺環境における密度低減を図る。

(2) 栽培終了後の蒸し込みの実施

- ア 蒸し込む前に、トマトは抜根または根元から切断する。
- イ できるだけ隙間の無いよう、施設を密閉する。
- ウ 日中の室温50℃以上を1週間以上維持する。

(3) タバココナジラミ蔓延防止（古株枯死）

施設を密閉のうえ、前作終了後からは種又は定植の15日前までに、キルパー原液40～60リットル/10aを50倍希釈を目安に水で希釈し、かん水チューブ等を利用してマルチ内の土壌表面に散布または灌水する。

○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

